

2018年6月12日

鹿児島大学と日本メジフィジックス  
国立研究開発法人日本医療研究開発機構医療研究開発革新基盤創成事業(CiCLE)  
再委託研究開発契約締結について  
～セラノスティクス（診断と治療の融合）の早期実用化を目指す～

国立大学法人 鹿児島大学  
日本メジフィジックス株式会社

鹿児島大学（鹿児島県鹿児島市、学長：前田芳實、以下 鹿児島大学）と日本メジフィジックス株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：下田尚志、以下 NMP）は、NMP が代表機関として提案した「セラノスティクス概念を具現化するための創薬拠点整備を伴う、抗体等標識治療薬（アルファ線）とコンパニオン診断薬の開発」が国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の「医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）」に採択されたことを受け、再委託研究開発契約を締結しましたので、お知らせいたします。

— CiCLE 課題の概要 —

放射線の一種であるアルファ線を放出するラジオアイソトープ（RI：放射性同位元素）を体内に投与し、標的とする部位を選択的にアルファ線で照射し、効果的ながん細胞を殺傷するという治療法の開発が進められています。今回採択された課題では、この治療法に用いるアルファ線放出 RI を抗体等に標識した治療薬と、そのコンパニオン診断薬を同時開発することにより、効率的かつ効果的ながん診療に貢献できると考えています。

— 再委託研究開発の採択研究課題への貢献点 —

鹿児島大学 伊東教授は、AMED 革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業の成果として、抗体医薬品として広く利用されている IgG 抗体に親和性を示すペプチドを用い、抗体の Fc 領域の特異的部位にペプチドを修飾する技術（Chemical Conjugation by Affinity Peptide：CCAP 法）を開発しました。本研究課題では本技術を活用した抗体 RI 標識技術の開発に取り組んでまいります。

鹿児島大学と NMP は、本研究課題を通じて、効率的効果的ながん診療への貢献が期待されるセラノスティクス概念の早期実用化に挑戦してまいります。

本件に関する報道関係お問い合わせ先	
国立大学法人 鹿児島大学 理工学域 理学系 伊東 祐二教授 TEL:099-285-8110	日本メジフィジックス株式会社 総務部(広報担当) TEL:06-4300-5541